

議案第9号 教職員の長時間過密労働を解消するための 実効ある施策をすすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに 解消するための施策を求める意見書の提出を求める陳情 討論一覧（討論順掲載）

賛成討論 門原武志 議員

子どもたちのために教員増員を

学校給食費の無償化と同様に現場の声を聞き、防衛費の財源ばかりを優先せず、国を動かして必要な財源を確保すべきである。国や県に対し、教職員の長時間過密労働の解消と年間を通じた教員未配置の即時解消を強く求める。

現在、愛知県では250名の常勤教員不足に対し、わずか120名の非常勤教員で穴埋めしているのが実態だ。その結果、130名もの教員が未配置のまま新学期が始まっている。学級担任が決まらない、プリント学習ばかりが続く、複数学級を1人で担当するなど、子どもたちに最も深刻なシワ寄せが行っている。この欠員を補うために他の教員が過労で倒れるなど、まさに悪循環の極みだ。教員不足の根本原因は、異常な長時間過密労働だ。県は実効性のある施策を直ちに講じるべき。

反対討論 こう田さとみ 議員

教職員の長時間過密労働については、本陳情が示す現状がある事は認識している。一方で、教員は「子どもたちの学びと人間的な成長を支える専門職」であり、その職務は一律に規定できず、一般企業の働き方改革をそのまま適用することは難しい。本来の仕事以外の業務を棚卸し、ICT化による事務の軽減や事務員、専門家、支援員による代替えなど改善が進められている。そうした現場努力では追いつかないという点で根本的な加配措置を求める事には賛同するが、短絡的に非正規教員を正規化して増員するという陳情事項には疑義を持つ。教員採用試験のハードルを緩めて非正規教員を正規化する事が教員全体の増員に繋がるとは考えられない。子どもの存在を以てしても多様性に満ちている学校だからこそ多様な人材と多様な働き方が必要であり、各種専門家や地域人材の手など広い意味での「先生」を登用し分業を進めることで、教職員の負担軽減と長時間過密労働の是正を図るべき。

賛成討論 中野まさひろ 議員

教員不足の即時解消と愛知県の責務履行

本陳情は教員の任命権者である愛知県に対し、教育現場の崩壊を止める具体的かつ実効性のある施策を求めるものです。県内では常勤教員不足により多数の未配置が発生し、担任未決や自習の継続など子どもの学ぶ権利が著しく侵害され、周囲の負担増がさらなる過労を生む悪循環に陥っています。教員不足の根本原因は長時間過密労働にあり、休日出勤の常態化による休職・早期退職の高止まり、志願者の減少を招いています。また非正規教員への依存も限界を迎えています。本町議会は国への定数改善等の意見書を提出してきましたが、今求められているのは現場に最も近い地方自治体であり、人事や配置の直接の権限を持つ愛知県がその責務を果たし、実効性のある労働環境の改善、非正規教員の正規化、そして県教育委員会の責任による年間を通じた未配置の即時解消へと舵を切ることです。教職員の命と健康を守るため、本陳情に賛成します。